

令和 8 年 9 月 1 日
リサイクル燃料貯蔵株式会社

リサイクル燃料備蓄センターの現在の状況について

1. 許認可（官庁手続き）関係

○【事業変更許可申請】

新たな種類の金属キャスクを追加するため令和 8 年 4 月 9 日、リサイクル燃料備蓄センター
使用済燃料貯蔵事業変更許可申請書を原子力規制委員会へ提出。

[申請内容]

金属キャスクの種類	収納体数	備考
BWR 用大型キャスク (タイプ 2 B)	69 体	許可済の BWR 用大型キャスク (タイプ 2 A) と同 一の金属キャスクで、燃料収納条件を変更したもの
PWR 用キャスク (タイプ 2)	24 体	収納体数の増加

○【定期事業者検査】

第 1 回定期事業者検査

定期事業者検査の終了をもって、令和 7 年 11 月 28 日、定期事業者検査報告書（定期事業者
検査終了時）を原子力規制庁へ提出。

[検査期間]

令和 7 年 8 月 18 日～11 月 5 日

第 2 回定期事業者検査

令和 8 年 1 月 15 日、定期事業者検査報告書（定期事業者検査開始時）を原子力規制庁へ提
出。

[検査期間]

令和 8 年 2 月 16 日～11 月 5 日（予定）

2. 金属キャスクの搬入実績

令和7年度のリサイクル燃料備蓄センターへの金属キャスクの搬入実績は、以下のとおり。

年度	搬入月	搬入先施設名	燃料体の種類	容器数 (基)	ウランの量 [※] (トン)
令和7年	10月	東京電力HD(株) 柏崎刈羽原子力発電所	BWR	2	約24
累積合計				3	約36

3. 貯蔵計画の届出

令和8年度からの3ヶ年分の使用済燃料貯蔵施設の貯蔵計画について、令和8年1月26日に原子力規制委員会に届出を実施。

東京電力ホールディングス(株)から今年度第2四半期に計画していた使用済燃料の輸送を取りやめることとした旨、通知されたことを受けて、令和8年7月28日に令和8年度上期の使用済燃料受入量を2基から0基に変更した変更届提出。

年度別	期別	容器数(基)	ウランの量 [※] (トン)
令和8年度	上期	0	0
	下期	3	36
令和9年度	上期	1	10
	下期	6	69
令和10年度	上期	4	45
	下期	5	60
合計		19	221

※ ウランの量は、端数処理(四捨五入)を実施しているため、累計が一致しない場合がある。

以 上

詳細については、当社ホームページから確認することができます。

(<https://www.rfSCO.co.jp/ssl/>)